



平成 21 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社リンコーコーポレーション
代表者名 取締役社長 岡村 繁
(コード番号 9355 東証第二部)
問合せ先 取締役経理部長 山下 和男
(TEL. 025 - 245 - 4112)

特別損失の計上及び業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月 27 日開催の取締役会において、平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の第 4 四半期に、下記の通り特別損失を計上し、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 2 月 6 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期の業績予想及び配当予想を修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 4 四半期において計上する特別損失及びその内容について

当社は、平成 21 年 3 月期の第 4 四半期において、連結 1, 890 百万円、個別 1, 830 百万円の特別損失を計上することといたしました。内訳は以下のとおりであります。

(1) 連結

① 固定資産の減損損失 1, 481 百万円

ホテル事業部門のホテル大佐渡について、近年 2 度に亘る地震の風評被害もあり、佐渡観光客の減少傾向に歯止めがかからない状況にあります。このようなホテル事業部門の事業環境の中、ホテル大佐渡の将来の事業環境や回収可能性を精査し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社及び子会社が所有する新潟県佐渡市のホテル事業用の土地、建物について減損損失を計上することにいたしました。

② ガントリークレーン倒壊事故に係る特別損失 409 百万円

詳細につきましては、平成 21 年 2 月 20 日公表の「新潟東港ガントリークレーン倒壊に対する当社負担額合意について」及び、本日（平成 21 年 3 月 27 日）公表いたしました「新潟東港ガントリークレーン倒壊事故に対する当社負担額の確定について」をご覧ください。

(2) 個別

① 固定資産の減損損失 1, 421 百万円

連結と同様の理由により、株式会社ホテル大佐渡に賃貸している当社所有の土地及び建物について減損損失を計上することといたしました。

② ガントリークレーン倒壊事故に係る特別損失 409 百万円

連結と同様に、詳細につきましては、平成 21 年 2 月 20 日公表の「新潟東港ガントリークレーン倒壊に対する当社負担額合意について」及び本日（平成 21 年 3 月 27 日）公表いたしました「新潟東港ガントリークレーン倒壊事故に対する当社負担額の確定について」をご覧ください。

2. 業績予想の修正

(1) 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	22,650	612	504	158	円 銭 5.86
今回発表予想(B)	22,048	523	421	△1,404	△52.04
増減額(B-A)	△602	△89	△83	△1,562	—
増減率(%)	△2.7	△14.5	△16.5	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	22,587	975	884	262	9.74

(2) 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	12,733	800	735	409	円 銭 15.16
今回発表予想(B)	12,422	733	672	△1,237	△45.85
増減額(B-A)	△311	△67	△63	△1,646	—
増減率(%)	△2.4	△8.4	△8.6	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	12,992	1,097	1,047	533	19.78

(3) 修正の理由

(連結)

世界的金融危機による国内外の景気低迷により、当第4四半期間において当社グループの主力部門であります運輸作業部門の貨物の取扱が予想よりも減少しております。またホテル事業部門につきましても一般顧客の消費マインドの冷え込みが宿泊やレストラン等の営業に影響し、業績は悪化しております。さらに前記「1. 平成21年3月期第4四半期において計上する特別損失及びその内容について」の特別損失を計上することに伴い、前回予想の158百万円の当期純利益から1,404百万円の当期純損失となる見込みであります。

(個別)

連結と同様に当第4四半期間において、当社の主力部門であります運輸作業部門の一般貨物、コンテナ貨物の取扱が予想よりも減少しております。さらに前記「1. 平成21年3月期第4四半期において計上する特別損失及びその内容について」の特別損失を計上することに伴い、前回予想の409百万円の当期純利益から1,237百万円の当期純損失となる見込みであります。

※ 上記の業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金
	期 末
前回発表予想 (平成21年2月6日発表)	3.00 ～5.00円
今回修正予想	3.00円
前期実績 (平成20年3月期)	7.00円

(2) 修正の理由

従来から当社は、株主各位への利益配当を最重要課題のひとつとして認識しておりますが、前記「2. 業績予想の修正」や今後の事業環境も予断を許さないことから、前回発表の配当予想3円～5円を3円の配当予想に修正させていただきます。

以 上